研究会・地域部会の報告書

提出者： 山本 博之 / 提出日： 2026.10.4

研究会・地域部会名	質量分析インフォマティクス研究会
代表者(所属機関名)	山本博之（ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社)
タイトル(イベント名)	第 11 回ワークショップ 「古都で考える 質量分析データ活用の未来」
日時	2026 年 9 月 11 日（金）
場所	京都府立大学下鴨キャンパス 午前：京都府立京都学・歴彩館 小ホール 午後：京都三大学・教養教育共同化施設 稲盛記念会館 104 号室
共催団体	日本質量分析学会スペクトルデータ部会、京都府立大学大学院生命環境科学研究科
後援団体	
参加人数	51 名

目的：質量分析を用いたオミックス研究は、分析化学・生物学・情報科学の境界領域に位置し、データの公開・共有・再利用や、インフォマティクスによる高度なデータ活用の重要性が増している。本ワークショップでは、メタボロミクス、プロテオミクス、リピドミクス等の研究者が交流し、質量分析データ活用の現状と今後の方向性について議論することを目的として、第 11 回ワークショップ「古都で考える 質量分析データ活用の未来」を開催した。

概要：概要：招待講演 2 件、講習会 2 件に加え、一般公募のポスター発表 19 件を実施した。また、ポスター賞エントリの中からポスター賞 3 件を選定した。

（以下、敬称略）
招待講演
松田 史生（大阪大学）
「MB-POST と MassBank Human：メタボロームデータの共有とアノテーションを促進する新基盤の紹介」
夏目 やよい（医薬基盤・健康・栄養研究所）
「血液プロテオームをどこまで読めるか - 臨床データ統合から由来臓器の推定まで」

Copyright © Japanese Society for Bioinformatics. All Rights Reserved. 22.10.04ver

講習会 吉沢 明康（新潟大学） 「オミクスデータの公開とメタボロミクス」 高橋 悠志（新潟大学） 「メタボロミクス・データリポジトリ MB-POST 利用講習会」 ポスター発表（一般公募）19 件 ポスター賞 西崎 愛花（北里大学） 「プロテオミクスデータにおける log2FC 空間の構造的特徴」 家田 愛菜（奈良先端科学技術大学院大学） 「ダイズの硫黄欠乏代謝応答」 亀谷 優歩（京都大学） 「MS-DIAL 駆動型リピドミクスデータ解析に資する MCP 開発と AI エージェントとの連携」
成果および感想：当日は 51 名の方にご参加いただきました。午前のポスターセッションでは、質量分析データベース、プロテオミクス、メタボロミクス、リピドミクス、AI・機械学習など幅広いテーマの 19 件の発表が行われました。午後にはショートプレゼンテーションを実施し、各研究の内容を参加者間で共有しました。 招待講演では、大阪大学の松田史生先生より、メタボロームデータリポジトリ MB-POST と MassBank Human を中心に、メタボロームデータの共有と代謝物アノテーションを促進する新たな基盤についてご講演いただきました。また、医薬基盤・健康・栄養研究所の夏目やよい先生より、血清中の細胞外小胞プロテオームと臨床情報の統合解析、および由来臓器推定に向けた解析手法についてご講演いただきました。 講習会では、新潟大学の吉沢明康先生より、オミクス研究におけるデータ公開の背景、FAIR データ原則、メタデータ標準化について解説いただきました。続いて高橋悠志先生より、MB-POST についてユーザー登録からデータアップロード、公開までの利用方法を紹介いただき、質量分析データの公開・再利用に関する理解を深める機会となりました。 また、ポスター賞として 3 件の発表を選出いたしました。西崎愛花氏（北里大学）の「プロテオミクスデータにおける log2FC 空間の構造的特徴」、家田愛菜氏（奈良先端科学技術大学院大学）の「ダイズの硫黄欠乏代謝応答」、亀谷優歩氏（京都大学）の「MS-DIAL 駆動型リピドミクスデータ解析に資する MCP 開発と AI エージェントとの連携」が受賞し、いずれも受賞にふさわしい内容でした。

Copyright © Japanese Society for Bioinformatics. All Rights Reserved. 22.10.04ver